

S027662 絵文字がついてやさしく読めるはじめての世界の名作全5巻セット

≡ キーワード

品番34980

語彙力

読書バリアフリー

英語の本棚ファーストステップ 2025年度

イチオシ! 特集

多様な読者に世界文学の名作を!



copyright © Every Cherry Publishing
Ltd, 2024



東京大学教授 脳研究者 池谷裕二先生推薦!

誰もが文学の世界に浸れるよう工夫された革新的な文学入門書シリーズ。特別支援教育の視点から綿密に設計されています。

- シンプルでやさしい英語テキスト
- 親しみやすいイラスト、絵文字記号が理解をサポート!
- 読み方がわかる! 音声・手話へアクセスできるQRコード付
- 英語学習のリーダーとしても。

掲載タイトル:

- ① The Wonderful Wizard of OZ (オズの魔法使い)
- ② Frankenstein (フランケンシュタイン)
- ③ Moby Dick (白鯨)
- ④ The Jungle Book (ジャングルブック)
- ⑤ A Christmas Carol (クリスマス・キャロル)



本シリーズの楽しみ方

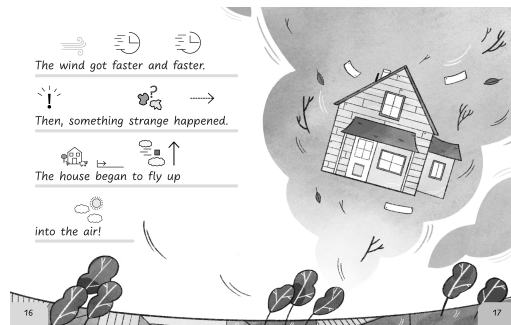
✅ QRコードを読み込み、イラストを見ながら英語の朗読を聞いてみよう!

まずは冒頭にあるキャラクター紹介ページを開き、イラストを見ながら、物語に出てくるキャラクターたちの名前を覚えましょう!

POINT 1 最初のページにあるQRコードを読み込むと英語音声を再生できるので、名前の発音を確認してみましょう。前半はややゆっくり、後半は通常のスピードでの朗読となっているので、好みの方を再生できます。

POINT 2 どんなキャラクターかな? 着ている洋服や表情から想像してみて話し合ってみましょう。

✓ 絵文字とイラストで内容を想像してみよう



さあ、準備ができたら物語の世界に飛び込みましょう！英語の文章を読んだり、イラストや絵文字を見ながら、なにが起きているのか、物語の内容について話し合ってみましょう。

POINT 英語の文章の上に、意味を説明する絵文字が付いています。

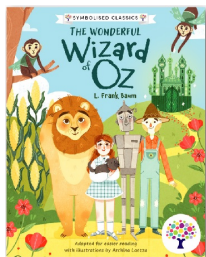
✓ リソース集を使ってみよう！

POINT 出版社の公式サイトには、授業などでも活用できるさまざまなアイデアを紹介した充実のリソース集があります。

Teaching Resources | Every Cherry

 <https://www.everycherry.com/teaching-resources>

1, The Wonderful Wizard of Oz (オズの魔法使い)



あらすじ：『オズの魔法使い』は、ドロシーという名前の女の子の物語です。たつまきに巻き込まれ、ドロシーは愛犬のトトと共にオズの国へ行ってしまう。プリキ男、カカシ、ライオンと友達になり、故郷へ帰れるよう、オズの魔法使いを探しに旅に出ます。しかし、ドロシーたちは、旅の途中でいろいろな大変なできごとにぶつかります。特に西の悪い魔女は、ドロシーが自分の妹の靴を履いていることに怒っていて……。

背景について：『オズの魔法使い』は、L・フランク・ボームによってずっと昔に書かれました。ボームはそれまでになかったような登場人物を描いたおとぎ話を書きたいと考えていました。この物語はアメリカ初の偉大なおとぎ話と考えられています。この物語を題材にした小説は数多く出版され、映画化もされました。映画は大ヒットし、劇中で歌われた「We're Off To See The Wizard (オズの魔法使いに会いに行こう)」は人気曲となりました。



アクティビティ①

たのしく英語耳の準備！

本を読み始める前に、「We're Off To See The Wizard」（オズの魔法使いに会いに行こう）という曲をインターネットなどで探して聴いてみましょう。

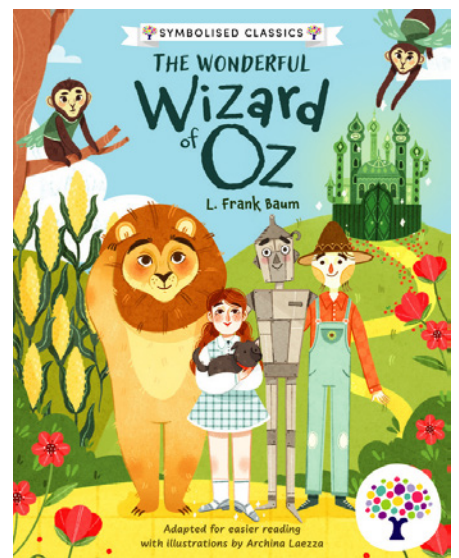
”Wonderful wizard of Oz” という単語が聴きとれるでしょうか？

アクティビティ③

物語への興味を高めよう！

本のカバーのイラストをじっくり見て気づいたことを話合ってみましょう。

- イラストのキャラクターを英語で言ってみましょう。
☞ 答えは冒頭のキャラクター紹介ページで確認
- イラストの中に、魔法使いはいるでしょうか？
- 実は表紙には魔法使いのイラストはありません。
なぜだと思いますか？



アクティビティ④

物語への興味を高めよう！

本の裏表紙のシンボルを見て話合ってみましょう。

- 主人公のドロシーに何が起これると思いますか？
シンボルを見て話の内容を想像してみましょう。
- 「オズの国」はどんなところだと思いますか？
- この物語を読みたいですか？ 読みたくないですか？
みんなでどう思うか、そして理由を話合ってみましょう。



グループで、本の表紙にあるドロシーのイラストと次の4つの文を参考に、ドロシーのワード・バンク（関連する単語集）を作り、どんなキャラクターか紹介文を作ってみましょう。

- ① She ran inside to help save Toto.
- ② She wants to be at home with her family.
- ③ She made friends with Scarecrow, Tinman and Lion.
- ④ She had sparkly shoes.

ワード・バンク

例 : brave, sparkly shoes, brown eyes など

ドロシーの
絵を描いてみましょう。

ドロシーの紹介文を作りましょう。
英語の場合はワード・バンクを使ってみて！

チャレンジ！

- ・ライオンのキャラクターの紹介文を作ってみましょう！
- ・ドロシーの新しい友達を考えてみましょう。どんなキャラクターで、魔法使いに何を求めるでしょうか？

2, Frankenstein (フランケンシュタイン)



あらすじ：『フランケンシュタイン』はメアリー・シェリーによって書かれた、科学を使って人間を創造した科学者の物語です。しかしフランケンシュタインは、自分が人間ではなく怪物を創造したと思い込んでいます。フランケンシュタインは怪物を恐れ、逃げ出します。この行動に怪物は激怒します。物語はフランケンシュタインと怪物を中心に動いていきます。読者に科学で人間を創造するのは間違っているというメッセージを伝えています。

背景について：メアリー・シェリーは、1797年ロンドンに生まれ1851年に亡くなりました。女性が作家として活躍するのは大変むずかしい時代でしたが、メアリー・シェリーは18歳のときに仲間内で怖い物語を書くことになったことをきっかけにこのお話を執筆しました。当時目覚ましい進歩を遂げていた科学技術から刺激を受け、死後の世界を探索すべきではないことを教えています。

3, Moby Dick (白鯨)



あらすじ：『白鯨』はハーマン・メルヴィルの有名な物語です。物語は、イシュマエルが捕鯨船に乗り込むところから始まります。世界中の様々な国から集まった乗組員たちは、モビー・ディックと呼ばれる巨大な白いクジラを追っています。モビー・ディックは捕獲が難しいクジラで、しばしば反撃してきます。船を襲い、乗組員を傷つけ、さらには捕鯨船の船長さえも負傷させます。エイハブ船長はモビー・ディックを狩る旅に出ますが、狩りが進むにつれて、彼自身と乗組員は多くの危険にさらされていきます。

背景について：作家ハーマン・メルヴィルは1819年アメリカに生まれ、1891年に亡くなりました。12歳で父親を亡くし、様々な仕事に就いたのち、自身も捕鯨船に乗船していた経験から『白鯨』を執筆しましたが、これは実話ではありません。この物語が書かれた当時、捕鯨は盛んに行われていました。メルヴィルは捕鯨中に船員が怪我をしたという話を耳にし、それがこの作品の執筆のきっかけとなったのです。

4, The Jungle Book (ジャングルブック)

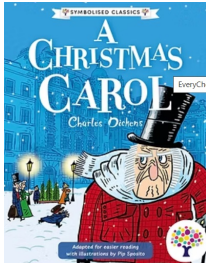


あらすじ：『ジャングル・ブック』は主に動物の登場人物で構成されている物語です。物語の中で、動物たちは話すことができますが、彼らは独自の言語を使用しています。モーグリはジャングルで一人ぼっちになり、オオカミたちは彼を自分の子供のように世話することになりました。しかし、トラのシア・カーンはモーグリが好きではありません。モーグリは安全のために人間の村で暮らしますが、それは長くは続きません。彼はジャングルの家族を恋しく思い、シア・カーンを倒して家族の元に戻る計画を立てます。

背景について：『ジャングル・ブック』は、ラドヤード・キップリングによって1894年に書かれました。この物語はもともと雑誌に掲載され、キップリングの父親が挿絵を手描きしました。キップリングは1865年にインドのムンバイで生まれ、6歳までそこで暮らしました。その後、イギリスで10年間過ごした後、仕事のためにインドに戻りました。イギリスに住んでいた間、キップリングは妹とイギリス人家族と一緒に暮らしていましたが、その家族は、イギリスに勉強に来たインドの子供たちの世話をしていました。キップリングの両親はインドに残り、イギリスには他に家族がいませんでした。両親のいないモーグリの暮らしは、キップリングの幼

少期に似ていると考えられています。この物語はその後何度も書き直され、映画化もされました。キップリングは1936年にロンドンで亡くなりました。

5, A Christmas Carol (クリスマス・キャロル)



あらすじ：ヴィクトリア朝時代を舞台にしたこの物語は、エベネザー・スクルージが人生を変え、生き方を変える物語です。クリスマスイブに3人の幽霊が現れ、スクルージがいかに利己的で貪欲であるかを思い知らせます。幽霊たちがスクルージを訪ねてきた後、スクルージは行動を改め、クリスマスの真の意味、優しさ、そして家族について学びます。

背景について：『クリスマス・キャロル』は、クリスマスの伝統的な幽霊物語で、何度も書き直され、映画化もされています。チャールズ・ディケンズ（1812年生まれ、1870年死去）は、『オリバー・ツイスト』『大いなる遺産』など数々の文学作品を生み出しました。『クリスマス・キャロル』は、ディケンズがヴィクトリア朝時代の子供時代を振り返るために執筆した作品です。当時は貧富の差が現代よりも大きく、彼は人々にこのことについて考えさせたかったとされています。